



ポーラ・オルビスグループ 購買・調達方針

ポーラ・オルビスグループは、お取引先と共に常に新しいことへ挑戦していきます。お取引先と協働して今までにない価値の創造に絶え間なく挑戦し続けるとともに、公正かつ自由な競争を促進します。


グループ購買基本方針

国内外を問わず、公平・公正なお取引の実行

1. 品質・コスト・納期・技術対応力・企業姿勢などを比較評価させていただき、お取引先を決定します。
2. 関連法規を遵守し、行動します。
3. 資源・環境保護など、社会的責任を果たす努力を継続します。

CSR調達ガイドライン

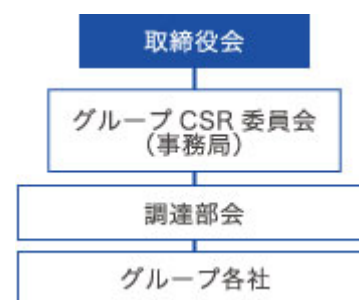
ポーラ・オルビスグループでは、グループ購買基本方針をもとに取引先と公正かつ自由な取引を続けながら、永続的かつ持続的に発展するために実践していくことをまとめたポーラ・オルビスグループCSR調達ガイドラインを制定しました。このガイドラインに基づき取り組み状況を把握する目的でモニタリングを順次実施していきます。

※ CSR調達ガイドライン 

※ ポーラ・オルビスグループでは、CSR調達ガイドラインの実践・順守をお取引様をお願いしており、本ガイドラインでカバーする項目としては、お取引先さまの長時間労働の削減、最低賃金の保証、現地法令を遵守した労働管理、安全で衛生的な職場環境、およびCO₂排出削減（エネルギー使用）、水使用量や廃棄物の削減などが含まれます。

お取引先との公正な関係のための体制

ポーラ・オルビスグループは、各社の責任のもと、法令順守でお取引先さまとの関係を築いています。お取引先さまとの関係性の中でも、近年原材料の調達がグローバルでの課題となっており、CSR委員会の分科会として2019年調達部会を設置しました。調達部会でグループ全体に影響を及ぼすような調達の課題を検討し、各社購買責任者とともに対応を検討します。ここでの結果は随時、取締役会で報告します。



お取引先との公正な関係のための啓蒙

ポーラ・オルビスグループは、当グループのグループ購買基本方針やグループCSR調達ガイドラインを、世界全てのお取引先にご理解・ご協力いただきたいと考えています。そのために、すべてのお取引先に対して、購買基本方針や人権や環境に関する取組を要請したCSR調達ガイドラインを周知するために、ポーラ化成工業が主催する購買説明会やCSR調達アンケートの依頼の際にご説明するなど、周知徹底を図っています。またお取引先との契約においては、購買基本方針やCSR調達ガイドラインに基づいています。

ポーラ・オルビスグループでは、お取引先とよりよい関係性を築き、ともに社会的責任を果たしていくために、CSR調達ガイドラインに基づき、CSR調達アンケート、および実地監査を行っています。

CSR調達アンケート

CSR調達アンケートを3年に1度、グループのお取引先に実施をしています。このアンケートを通じて、法令遵守(コンプライアンス、公正な取引・腐敗防止、情報セキュリティ、最低賃金)、人権(強制労働や児童労働の禁止、差別など)労働環境、環境、サプライチェーン、品質維持など、お取引先に遵守していただくようコミュニケーションを図るとともに、リスクの大きさの把握も行っています。また、新規お取引候補先につきましては、CSR調達アンケートの実施を行い、人権や環境などのリスク評価を行っています。

オーストラリアを中心に世界20カ国でプレミアムスキンケア製品を販売している100%子会社のジュリークはSedexに加盟しており、Sedexを通じてのお取引先のリスク評価を行っています。

アンケート回収件数(工場単位)

2018年 243サイト 2019年 33サイト 2020年 4サイト

※ お取引先1サイトにつき、3年に1度調査実施

CSR実地監査の実施

ポーラ・オルビスグループにおけるBCPグループ優先品目や原材料の代替が困難なお取引先、当グループが、お取引先における取引率が高いお取引先、CSRアンケートでリスクが高いと判断されたお取引先について、マテリアリティをおき、CSR実地監査を行っています。

2020年は5社の実地監査を実施しました。お取引先の工場が従業員を採用するときに、信頼できる身分証明書を用いて年齢をチェックしているかなどを確認を行いました。実地監査したすべてのお取引先に改善の要望をお願いしました。廃棄物の管理やSDSの最新版へのアップデートや現場での掲示などは改善を要望し、対応の報告をいただいています。環境に関する法令違反事例・指摘事項はございませんでした。

お取引先ホットラインの設置

ポーラ・オルビスグループではお取引先からの当グループへの苦情や相談をお取引先ホットラインで受け付けています。ポーラ・オルビスグループ行動綱領や、CSR調達ガイドラインに基づき、コンプライアンス違反(人権含む)が対象となっています。

2020年は3件の通報をいただき、対応を行いました。

- ♪ お取引先ホットラインはこちらから
- ♪ ポーラ委託販売契約先の方はこちらから

ポーラ化成工業の購買活動

ポーラ化成工業を中心として、化粧品原材料および容器包材について、環境に配慮した調達・購買活動を推進するため独自の環境基準を定めています。原料は資源保護や環境保全に留意し、環境ホルモン、PRTRなど設定した基準に準拠した調達・購買に努めています。

容器・包材は、原料・省資源を推進するために、再生材使用など適切な包材選定と環境に配慮した設計と購買活動を行っています。

また、お取引先との密接なコミュニケーションを通じて連携を深めています。随時、購買方針説明会を開催し、ポーラ・オルビスグループの理念や経営方針をお伝えしています。

説明会では、原料および包材・外注のお取引先に参加をいただき、「お取引先とのアライアンス構築」「グローバル化に向けた取組み」「サプライチェーンマネジメントの進化」「BCPの取組み強化」などの重点項目について説明しております。

下請法などの法令の遵守のために、関連機関による外部調査、自主監査、購買活動に関する法令および社会倫理に関する勉強会などを実施しています。



購買方針説明会の様子

公正な競争



ポーラ・オルビスグループ 公正な競争の方針

ポーラ・オルビスグループは、グループ行動綱領の反競争的行為の禁止に則って高い倫理観を持って行動をします。カルテルや談合、再販売価格の維持、優越的地位の濫用等独占禁止法違反となるような行為を行わず、公正で自由な企業間競争を行っています。



ポーラ・オルビスグループ 汚職の防止の方針・取り組み

ポーラ・オルビスグループでは、グループ理念の実現と、グローバル社会で自らを厳しく律するための行動の基準を定めた「ポーラ・オルビスグループ行動綱領」^④、および「贈物および接待等に関するガイドライン(2008年制定)」を設定しています。その中で、販売先、仕入先、調達先、業務・製造等受委託先の取引先および関係官庁の公務員との関係において、法令、規則、社内規程、基準等を遵守することを定め、贈物および接待などの授受を原則禁止しています。

グループ子会社ごとに策定した細則で、宣伝用品など安価なもの、餞別、祝儀等 社会通念上 業務として必要な場合のみ上限を設け例外として認めていますが、必ず事前承認、事後報告を定めています。特に、海外グループ会社では、購買プロセスの見直しを実施し、関連規程を追加しました。

また、ポーラ・オルビスグループ各社は、その内容が適切に守られるよう管理体制と施策についても定めており、定期的に「贈物および接待」などについて自己監査や教育を行っています。教育については、全役員および従業員対象のe-ラーニングを毎年実施し、贈賄禁止・腐敗防止を明記した「ポーラ・オルビスグループ行動綱領」および「贈物および接待等に関するガイドライン」の周知徹底を図っています。

事業プロセス全体における贈賄や腐敗防止のためのリスクアセスメントとして、毎年匿名による従業員調査を行っています。不正な取引のリスクを洗い出し、対応の実施と取締役会への報告を行っています。リスクの高い事業プロセスやお取引先については、担当取締役の判断のもと、契約の見直しを含め、改善を行っています。

サプライチェーンに関しては、ポーラ・オルビスグループの「購買基本方針」に基づき、お取引先とポーラ・オルビスグループが公正かつ自由な取引を続けながら、永続的かつ持続的に発展するために必要な事項をまとめた「CSR調達ガイドライン」^⑤を制定。各国や地域の法令および条例を遵守した事業活動を行い、公正さを疑われるような取引および贈収賄には関与しないことを、お取引先に要請しています。また新規お取引先につきましては、腐敗防止・贈賄禁止を含めた公正な取引が行われているか、CSR調達アンケートの実施でデューデリジェンスを行っています。